

紫波中央駅前町有地活用事業（その４）
オガールエリア事業街区D街区（仮称）紫波中央駅前保育所
最優秀提案の概要及び事業予定者の決定について

【提案者数】 ２グループ

【事業予定者】

下記のグループは、事業者選定委員会で最優秀提案者として選定された。

オガール紫波株式会社は、最優秀提案者である社会福祉法人共助会を事業予定者として決定した。

法人名 社会福祉法人共助会

【提案概要】

１ 保育所等の運営実績

社会福祉法人共助会は、保育事業は初めてとなるが、東京都と神奈川県で老人福祉事業を展開し、現在４施設を運営中である。

２ （仮称）紫波中央駅前保育所の保育プログラム

①緑豊かな地域性を生かし、自然とともに生きる力を育てる

→自然に親しみ、自然を通して子どもを取り巻く「世界」への理解を促す。

②豊かな人間性を育てる

→異年齢児や高齢者とのふれあい、地域行事に参加する。

③人間性の涵養に大きく関わる「食」の大切さを伝える

→地元の食材を給食に活かし、栽培・収穫・調理を体験する。

３ オガールプラザを活用した、子供たちの「生きる力」を育む保育プログラム

①情報交流館の地域交流センターや図書館を利用した保育

→国際交流プログラムや図書の読み聞かせを行う。

②物産、産直を活用した保育

→農業体験、ジャム作り体験など紫波町の産物を用いて教育を行う。

③紫波町保健センター、医院を活用した保育

→母親、父親向けの教育プログラムの実施や食生活指導を行う。

④オガールプラザ内の学習塾と協同した早期語学教育や人間性を豊かにするための保育

→遊びの中で楽しみながら英語をスムーズに習得できるような早期語学教育を行う。